



新入職員の地域の産業や地域貢献に対する理解・意識の醸成、チームビルディングを目的としたプログラム導入
新人研修における「地域貢献」をテーマとした研修に、地域の事業者による林業体験等のプログラムを導入している。



導入の経緯と決め手

協同組織金融機関の原点である「相互扶助の精神」を持ち、地域やお客さまと密接につながることを大切にしている。東京都檜原村の(株)東京チェーンソーズは、地域のお客さまであること、林業がSDGsと関わりが深いこと、同社の取組が地域貢献に関する示唆に富んでいることなどから、新人研修での地域貢献に関する研修として、2023年度より同社の提供プログラムを導入。



取組内容とその効果

<実施地域：東京都檜原村>

新入職員が10人のグループにわかれて、東京チェーンソーズスタッフの説明を受けながら低木やツルを刈る作業や林道整備を体験。同社社長より林業の現状や自社事業、地域貢献について講義を受けた後、グループごとに感想や身近な地域貢献についてディスカッション。その後、地域の事業者が営む施設でバーベキューを行って終了。人や地域を大切にする組織として、新入職員が地域のお客さまと直に初めて接する機会となっており、地域の産業についての理解を深めたり、地域貢献について意識を高めることができた。



職員の声

- ・皆で協力し合い林業の作業を行うことで、同期同士の絆が深まった
- ・社長をはじめ、社員の方々の林業に対する想いを知り、信用金庫職員としての自覚と責任が強まった
- ・体験を通じて地域やお客さまと直接関わることができ、有意義な時間であった



役割分担と参加促進に向けた取組

研修プログラムは、人事部から受入企業側に研修目的等を伝え、受入企業側がオーダーメイドで作成している。

研修に利用する借り上げバスやバーベキュー施設の運営企業についても金庫のお客さまであり、新入職員がお客さまや地域を大切にする心構え・ふるまいを学ぶ機会にもなっている。

■プログラム構築：

受入企業が、金庫の要望を踏まえて、オーダーメイドでプログラムを作成

■導入形態：

参加必須の研修（日帰り）

■対象者：

新入職員

■費用負担：

金庫が全額を負担



目的

- チームビルディング・社内コミュニケーション強化
- 自社事業・企業理念に対する理解向上
- 地域貢献・社会貢献
- 地域との関係づくり



結果（企業の声）

- 新入職員の地域産業への理解を深めたり、地域貢献に対する意識を高めることができた。